

2023年度

CFP[®]試験 課目別攻略法！

(金融資産運用設計)

TAC

このレジュメの著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

CFP[®]、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER[®]、サーティファイド ファイナンシャル プランナー[®]は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB) の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

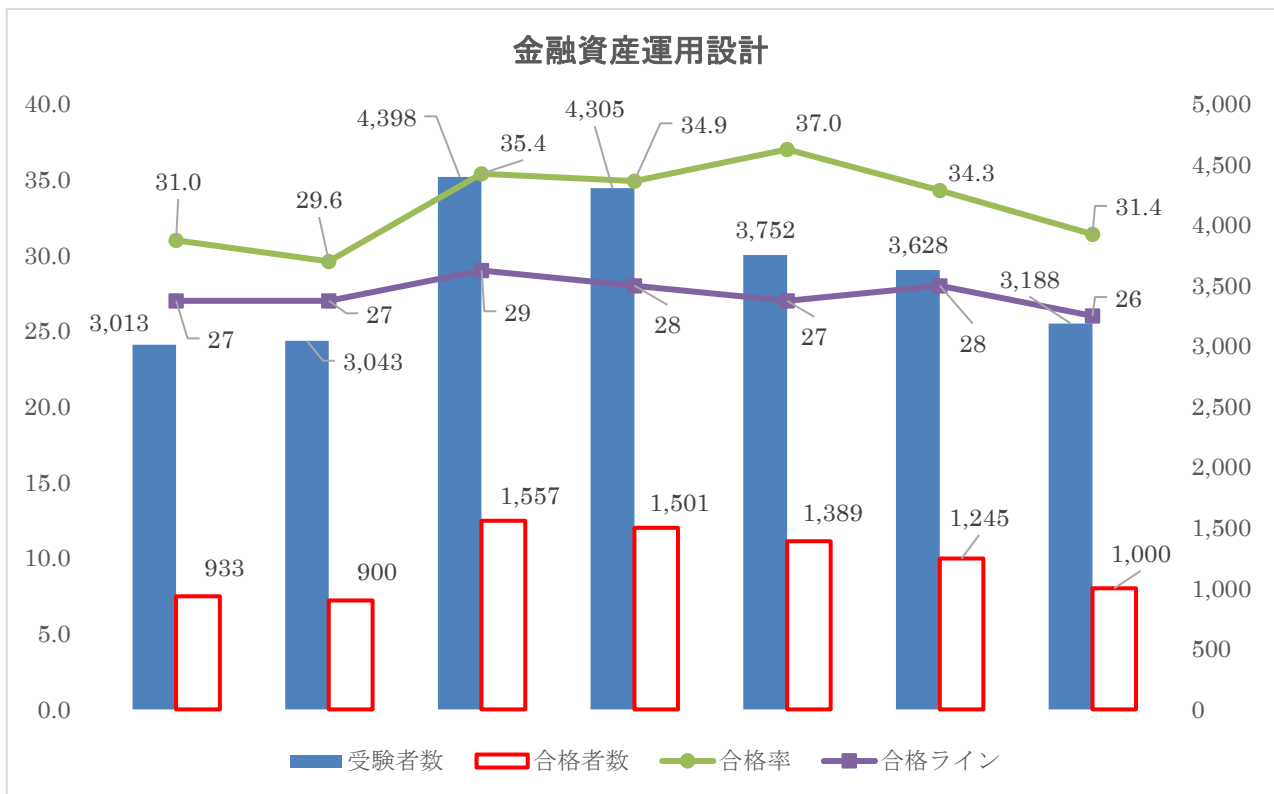
I. 合格率・合格ラインの推移(金融)

2014 年第 1 回試験から課目別合格ラインを公表しています。

■金融資産運用設計

実施	2019 年度 第 1 回	2019 年度 第 2 回	2020 年度 第 2 回	2021 年度 第 1 回	2021 年度 第 2 回	2022 年度 第 1 回	2022 年度 第 2 回
受験者数	3,013 名	3,043 名	4,398 名	4,305 名	3,752 名	3,628 名	3,188 名
合格者数	933 名	900 名	1,557 名	1,501 名	1,389 名	1,245 名	1,000 名
合格率	31.0%	29.6%	35.4%	34.9%	37.0%	34.3%	31.4%
合格ライン	27 問	27 問	29 問	28 問	27 問	28 問	26 問

※2020年度第1回は中止。



II. 課目別攻略法(金融)

(1) 出題傾向の分析

2級(AFP)試験でも重要論点となる「債券」「株式」「投資信託」「外貨建商品」等の金融商品全般について問われるほか、投資の利益などを計算する問題や「関連法規」、資産運用に関する「投資理論」「経済情報」等、非常に幅広い知識が問われる課目です。

また、別の課目で学習した「確定拠出年金」「財形貯蓄」等も資産運用の一環として出題されたり、2級(AFP)試験での出題は少数の「デリバティブ」「投資理論」からの出題が多かったりするのもCFP試験の特徴です。

新しい制度や法改正などについてもよく問われる傾向にありますが、何より出題の論点が多いのと20問程度の手強い計算問題がこの課目の特筆すべき点です。計算問題は、毎回出題される定番の問題だけでなく、計算式の与えられる新しいタイプの問題、複雑で時間のかかる応用問題が出題されます。

(2) 効率よく得点するには

他の課目と比較しても出題論点が多いため、得点につなげやすい頻出問題とそうではない問題への対応を上手に分けて学習することが重要です。

計算問題は、「株式」の投資指標・信用取引、「債券」の単価・利回り・デュレーション、「投資信託」の個別元本・税金等はよく出題されますので、確実に得点できるようにしておきたい項目です。一方で、解答にたどり着くまでの過程が長い難問も出題されます。繰り返し問題を解いてゆけば、ある程度得点源とすることは可能ですが、2時間で50問を解くスピードを要求される試験では後回しにして、余った時間で取り組むなど独特のテクニックが必要となります。

正誤問題は、「関連法規」「貯蓄型商品」「投資信託」等で2級(AFP)の知識でも十分対応できる問題は確実に得点できるようにしておきましょう。一方で、「経済情報」に関連した資料の読み取り問題は時事内容の新しい出題が多く、必要以上に時間をかけすぎないように意識しておく必要があります。普段から新聞の経済記事に目を通す習慣をつけておくと自然に対応力が身につきます。

「デリバティブ」「投資理論」は、CFPで本格的に学習する論点のため得点に差がつきやすいと思われれます。しかし、正誤問題・計算問題とも基本的な内容が問われることが多く、土台となる知識を身につければ高得点が可能です。

以上より、よく出題される論点の理解を深め、定番の計算問題に短時間で対応できる練習を繰り返すことが効率的な学習となります。TACの問題集を何度も解くことでスピードや応用力に磨きを掛けましょう。

(3) 必要な学習時間

講義時間を除き、**40~50時間程度**が目安となります。多く出題される分野に時間を割く、問題を解く時間をできるだけ多く確保するなど、工夫して効率的な学習を心がけてください。

(4) 本試験問題を見てみよう

① 2級(AFP)レベルの問題

(問題19)

(設問D) 東京証券取引所における上場株式の市場区分に関する次の記述の空欄(ア)～(エ)にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

東京証券取引所の市場区分は、市場第一部、市場第二部、(ア)、JASDAQの4つとされていたが、2022年4月4日に(イ)市場、(ウ)市場、(エ)市場の3つの市場区分に見直された。(イ)市場とは、流動性が高く、高いガバナンス水準を備え、投資家との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値向上をコミットする企業向けの市場である。(ウ)市場とは、上場会社としてふさわしい時価総額や流動性があり、基本的なガバナンス水準を備えた企業向けの市場である。(エ)市場とは、高い成長可能性を有し、最低限の流動性や事業規模を踏まえたガバナンス水準を備える一方、事業実績の観点からは相対的にリスクが高い企業向けの市場である。

- | | | | |
|-------------|------------|------------|----------|
| 1. (ア) マザーズ | (イ) スタンダード | (ウ) プライム | (エ) グロース |
| 2. (ア) マザーズ | (イ) プライム | (ウ) スタンダード | (エ) グロース |
| 3. (ア) グロース | (イ) スタンダード | (ウ) プライム | (エ) マザーズ |
| 4. (ア) グロース | (イ) プライム | (ウ) スタンダード | (エ) マザーズ |

正解 2

出典：CFP資格審査試験(2022年度第1回)
日本FP協会
「金融資産運用設計」問題19

② 2級（AFP）とCFPの中間レベルの問題

（問題9）

（設問A）北村さんは、今後金利が上昇していくと思い、KB銀行のスーパー定期 300 の1年物に元利金自動継続扱いで3年間預け入れることにした。預入額 400 万円、当初の適用利率は 0.25% で、1年ごとに適用利率が 0.20% ずつ上昇した場合、3年後の税引後の受取額として、正しいものはどれか。なお、計算過程は円未満、解答は 10 円未満を切り捨てること。

1. 4,043,200円
2. 4,043,230円
3. 4,043,340円
4. 4,048,430円

正解 3

出典：CFP資格審査試験（2022年度第1回）
日本FP協会
「金融資産運用設計」問題9

③ CFPレベルの問題

	割引債券L P	利付債券R A	割引債券L Q
表面利率	—	年 2.0%	—
利払い	—	年 1 回	—
現在の単価	a 円	b 円	c 円
残存期間	3 年	4 年	4 年
2 年後の単価	(a + 2.64) 円 (残存期間 1 年)	(b (ア)) 円 (残存期間 2 年)	(c + 4.03) 円 (残存期間 2 年)

<現在のスポットレート>

残存期間 1 年	残存期間 2 年	残存期間 3 年	残存期間 4 年
0.2%	0.5%	1.0%	1.4%

(問題19)

(設問A) 割引債券L P、利付債券R Aおよび割引債券L Qの現在の単価を、上記のスポットレートを基にした年1回複利計算による理論価格 a 円、b 円および c 円とする。2年後、金利が変動し、2年後のスポットレートを基にして計算した割引債券L Pおよび割引債券L Qの理論価格が表のとおりとなった場合、表の空欄(ア)にあてはまる数値として、正しいものはどれか。なお、税金や手数料は考慮しないものとし、計算過程は小数点以下第5位を四捨五入、計算結果は小数点以下第3位を四捨五入すること。

1. -0.59
2. -0.19
3. +0.19
4. +0.59

正解 3

出典：CFP資格審査試験(2022年度第2回)
日本FP協会
「金融資産運用設計」問題19

④ この課目ならではの問題

(問題7)

(設問C) 日本銀行の金融政策に関する次の記述の空欄(ア)～(エ)にあてはまる語句と数値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

2021年3月19日に開催された日本銀行の政策委員会・金融政策決定会合において、(ア) %の「物価安定の目標」を実現するため、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための対応として、イールドカーブ・コントロールについて、長期金利の変動幅を±(イ) %程度にすることを明確化するとともに、必要な場合に強力に金利の上限を画すため、「連続指値オペ制度」を導入するとした。また、日本銀行当座預金のうち(ウ) 残高に(エ) %の金利を適用するマイナス金利政策は継続するとされた。

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1. (ア) 1 | (イ) 0.1 | (ウ) マクロ加算 | (エ) ▲0.25 |
| 2. (ア) 1 | (イ) 0.25 | (ウ) 政策金利 | (エ) ▲0.1 |
| 3. (ア) 2 | (イ) 0.1 | (ウ) マクロ加算 | (エ) ▲0.25 |
| 4. (ア) 2 | (イ) 0.25 | (ウ) 政策金利 | (エ) ▲0.1 |

正解 4

出典：CFP資格審査試験（2022年度第2回）
日本FP協会
「金融資産運用設計」問題7



TAC